

たくさんの人の思いが、ここに集う。
紀州材の優れた特性を存分に生かした
最新の建築物をご紹介します。

紀州材で
建てる
公共
建築物

case.02

橋本市立高野口小学校 和歌山県橋本市

設計事務所:NPO法人環境創造サポートセンター 施工業者名:[校舎改修]株式会社松村組大阪本店



外 観



内 観



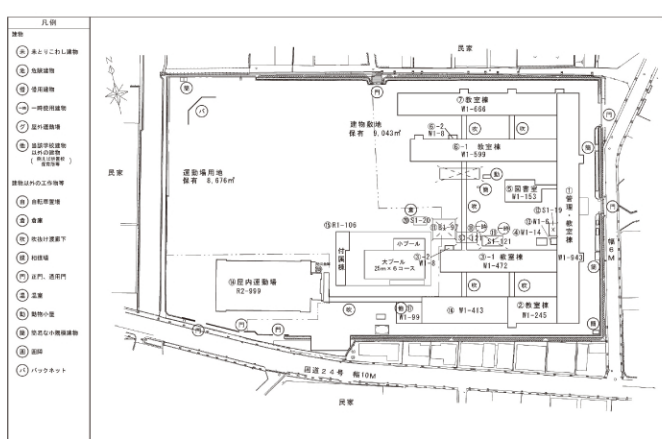
内 観



内 観



外 観



校舎は、昭和12年に建設の木造平屋建てで、耐震性を高めるため平成23年に改修工事を完了しました。改修に当たっては、文化財的価値を損なわないよう木構造によることを基本とし、使える現状の部材・素材はそのまま使用しています。その結果、建築当時の雰囲気を残しています。

屋内運動場は、屋根が木造、下部がRC造で、小径木の重ね梁を用いた交差梁構法と、RC柱の頂部に設けた立体トラス構法の2つの構法により、入手が容易な地域材による架構の組上を可能としています。木造の大屋根が木造校舎の背景として調和しています。